

鳥取県

(全域)

天敵カブリダニを活用したイチゴの薬剤散布回数の減少

【1. 概要】

- ・イチゴ栽培において、天敵カブリダニを活用し、ハダニ類の効果的な防除を実施
- ・県内導入面積は約2ha

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・県内イチゴ産地では、頻繁に薬剤散布を行ってもハダニ類(ナミハダニ、カンザワハダニ)が発生することから、天敵の導入を検討した
- ・モニタリングによるカブリダニ放飼は調査に時間がかかり普及が困難だった

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・福岡県の事例を参考に、カブリダニ類(ミヤコカブリダニ、チリカブリダニ)のスケジュール放飼を現地実証
- ・普及所と協力し、産地に影響力のある生産者のほ場で現地実証を実施

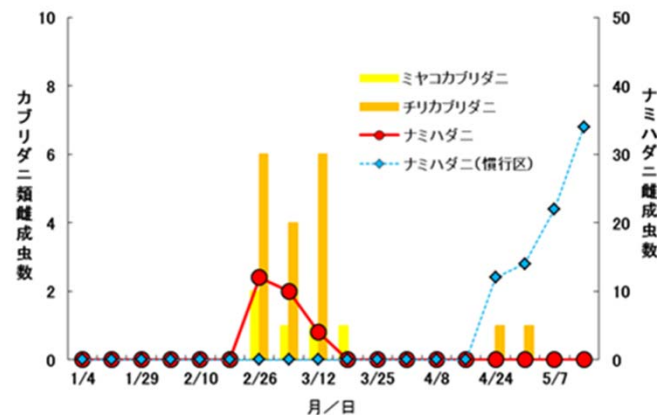


図4.天敵防除体系のハダニ類に対する効果

イチゴ促成栽培(品種:章姫)の試験
天敵放飼区では、ミヤコカブリダニを11月18日に放飼、チリカブリダニを1月29日、2月10日に放飼
慣行区では農家慣行により定期的にハダニ類に対する薬剤散布を実施



図1. ナミハダニ



図2. ミヤコカブリダニ



図3. チリカブリダニ

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・現地実証により他の生産者にもカブリダニのスケジュール放飼が普及
- ・県内導入面積は約2ha
- ・ハダニ類対象の薬剤散布回数は、慣行防除と比較して50%に減少

【問い合わせ先】
農林水産部園芸試験場
環境研究室
電話：0858-37-4211